

はくとと

Shinkomonji Hospital

新小文字病院

2020.10

Vol.55

ご自由に
お持ち帰り下さい

はくとと Vol.55



新小文字病院を
身近に感じる広報誌

2020年10月15日発行

企画
新小文字病院
広報委員会

〒800-0057
北九州市門司区大里新町2-5

TEL 093-3911001
FAX 093-3911700

未破裂脳動脈瘤治療

脳神経外科統括部長 駒谷 英基

CT装置が新しくなりました

医療技術部長 兼 放射線科技師長 茂呂田 孝一

病棟シリーズ 第7回

脊髄脊椎外科病棟 道免 淳子

輸液について

薬剤科 牛島 麻里亜

入職から半年が経ちました

4月入職者の抱負

看護エピソード

外来ER主任 山本 美穂

災害対策支援室報告

医長 富永 尚樹医師

満足度調査結果

COVID-19 感染対策評価

小倉南区母原の〜りんご狩り〜「吉武豊湧園」

基本方針

高度医療 学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。

総医療 患者と医療情報を共有し、急性期治療から早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。

地域医療 地域の医療・福祉施設と密接な連携を図り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。

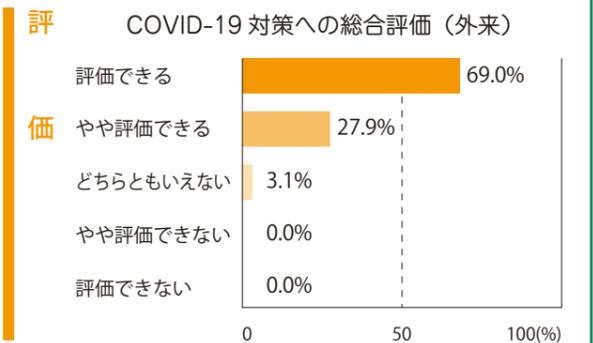
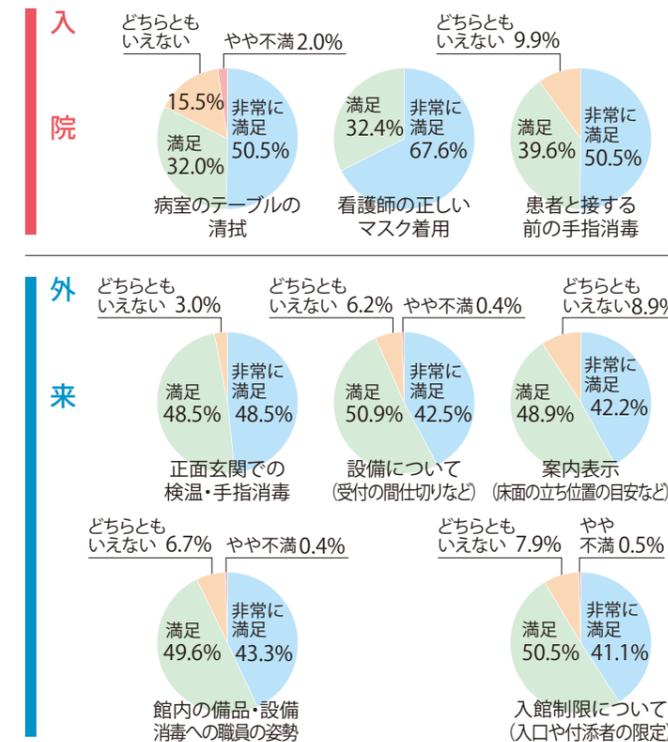
患者の権利と責務

- 1. 平等な治療を受ける権利があります。**
患者は、その社会的経済的地位、国籍、人種、宗教、年齢、病気の種類によって差別されずに、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2. 治療を自己決定できる権利があります。**
患者は、医師による明確でわかりやすい言葉で十分な説明を受けた後で、治療を受ける権利、あるいは治療を受けることを拒む権利があります。
- 3. 情報を知る権利と情報を提供する責務があります。**
患者は、医師による診断・治療、または変わり得る治療方法・予後、今後予測される問題に関して知る権利を持っています。患者は、自身の症状や健康に関する正確な情報を提供し、治療に積極的に参加する責務があります。
- 4. セカンドオピニオンを受ける権利とプライバシーが守られる権利があります。**
患者は、自分の医療内容に対して、医師と共同して選択する権利、他の医師か

- らの意見・相談を得る権利、いかなる場合であっても人格的に扱われ、患者自身の診療に関する全てのプライバシーに関して、万全の配慮を受ける権利を持っています。
- 5. 相談する権利があります。**
患者は、十分な情報を得、利用可能な財政的支援について相談する権利を持っています。
- 6. 良質な医療を速やかに受ける権利があります。**
患者は、効果的医療行為を速やかに行われることを要求する権利、継続的に支持、検討された質の高い医療を受ける権利を持っています。
- 7. 病院秩序を守る責務があります。**
患者は、全ての患者が安全で良質な医療を受けられるように配慮して頂くとともに、職員が適切な医療を行うことを妨げないよう協力する責務があります。また、医療費を適正に支払う責務があります。

トピックス 満足度調査結果(令和2年6月分) COVID-19における当院感染対策への評価

当院が実施してきたCOVID-19における感染対策について、患者様からの評価を可視化するため、今回特別に調査を実施しました。医療安全管理室の協力のもと、外来、入院でそれぞれ質問項目を用意し、患者様にご記入いただきました。



考察 また感染対策において、「病室のテーブルの清拭を行っているか」など、看護師として行われるべき基本的な対策を中心に設問を設けており、「非常に満足」は50%以上、「非常に満足」「満足」の合計値も80～90%台と高い評価を頂いております。このことは「非常に満足」と回答いただいた患者様の割合が向上している一因とも考えられます。しかしながら、面会制限やドア開放による騒音、プライバシー配慮などご意見が出るなど、病棟での感染対策は一定の入院患者様にとって不満要素ともなりえることが伺えます。

診療科目 ご案内

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 内科 | 消化器内科 | 内分泌・糖尿病内科 |
| 循環器内科 | 呼吸器内科 | 外科 |
| 整形外科 | リウマチ科 | 形成外科 |
| 泌尿器科 | 放射線科 | 脳神経外科 |
| 救急科 | 病理診断科 | リハビリテーション科 |
| | | 皮膚科 |
| | | 脊髄脊椎外科 |
| | | 麻酔科 |



交通アクセス



駐車場のご案内

- ご来院の際は400台収容可能な駐車場をご利用ください。
- 外来受診・お見舞い
 - 4時間まで……………100円
 - 以降1時間毎に……………200円
 - 検査・手術付添等に関わる長時間滞在
 - 8時間まで……………100円
 - 以降1時間毎に……………200円

新小文字病院 🔍 検索
E-mail: info@shinkomonji-hp.jp
http://www.shinkomonji-hp.jp
NPO法人列島会
創造館クリエイティブハウス 印刷事業部

未破裂脳動脈瘤治療

くも膜下出血の原因である

脳動脈瘤に対するの外科治療

一度発症すると30%以上の患者さんが死亡してしまつていわれるくも膜下出血。命が助かっても重篤な後遺症が残ることも多々ある恐ろしい病気です。またくも膜下出血は他の脳血管障害である脳梗塞や脳出血と比べて発症早期の死亡率が高いことが特徴的です。



脳神経外科統括部長
駒谷 英基

久米大学医学部医学科卒業
医学博士 臨床研修指導医
資格

日本脳神経外科学会 専門医・指導医
日本脳卒中学会認定 脳卒中 専門医
日本脳卒中の外科学会 技術認定医
三学会承認 脳血栓回収療法 実施医
脊椎脊髄外科 専門医
日本脊髄外科学会 認定医
所属学会
日本脳神経外科学会
日本脳卒中学会
日本脳卒中の外科学会
日本脳神経血管内治療学会
日本脊髄外科学会
日本脳神経外科コンgres

くも膜下出血の原因

出血の原因としては、脳動脈瘤が破裂することが多く、発症年齢は男性が60歳台に、女性では70歳台にピークを迎え高齢化がくも膜下出血の発生を増加させます。

くも膜下出血の症状

- 突然発症する激しい頭痛（これまで経験したことのないようなバットで殴られるような痛み）
- 嘔吐
- 意識障害
- 運動麻痺など

早期発見による治療

近年、脳MRI・MRAの普及により脳ドックなどで脳動脈瘤が見つかる頻度が上昇しています。

そのため未破裂脳動脈瘤（まだ破裂していない脳動脈瘤）が発見された後にくも膜下出血を予防するための外科的治療も行われることが増えており、当院でも積極的に外科的な予防治療を行っております。

予防的外科治療の指針

下記の内容の検討や患者様の希望、社会背景などを考慮



し多角的な検討の結果で治療を決定しています。

予防的外科治療の指針 (UCAS-Japan SUAVE study PHASES risk study)

① 脳動脈瘤の大きさ	5~7mm以上のサイズの動脈瘤
② サイズが上記より小さくても	i 物が二重に見えるなどの症状の原因となっている場合（症候性） ii 前交通動脈瘤・内頸動脈後交通動脈分岐部瘤 iii 動脈瘤の形がいびつである（プレブがある動脈瘤）
③ 複数の動脈瘤がある	多発例
④ 病気・習慣	高血圧、多発性腎嚢胞、喫煙、多量飲酒
⑤ 人種	フィンランド人、日本人

手術治療について

① 開頭脳動脈瘤頸部クリッピング術（開頭術）

通常は小さな小開頭を用いて動脈瘤の頸部（首根）にクリッピングを挿入し動脈瘤への血流を遮断し出血を防止します。

す。当院では無剃毛（手術の際、髪は剃りません）

② 脳動脈瘤コイル塞栓術（脳血管内手術）

右の大腿部（股の付け根）あたりからカテーテルを挿入し、動脈瘤の近くまでカテーテルを進めていきます。動脈瘤内部にコイル（フランチナ製剤）を充填させて動脈瘤内への血流を遮断し出血を防止します。

治療方針について

開頭術もしくはカテーテル治療の選択は、患者様の年齢や基礎疾患の有無、動脈瘤の特徴（動脈瘤の場所や形態）などを考慮し、治療選択を提供いたします。

当科では脳神経外科専門医、脳血管外科治療医、脳血管内専門医が常勤しており、毎週行われるカンファレンスを通して治療内容を検討し、患者様へ治療の提供を行っております。

また手術治療の環境としても、術中モニタリングの使用や術中ナビゲーションなど十分な環境での手術提供が可能となっております。

手術治療の内容

1 開頭手術による治療 開頭脳動脈瘤頸部クリッピング術

未破裂前交通動脈瘤

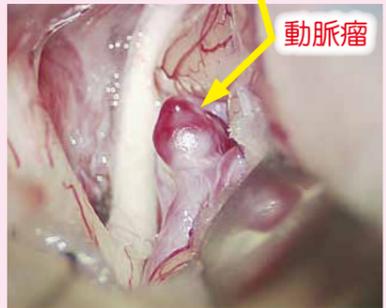
術前



術後



動脈瘤

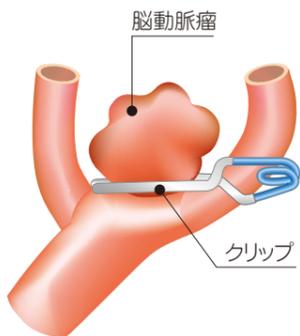


クリップ



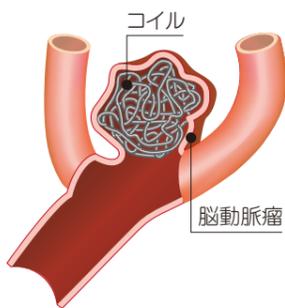
クリップにより動脈瘤内の血流がなくなり、出血を防止します。

開頭術

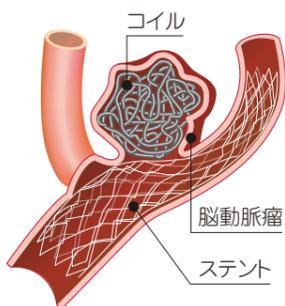


2 脳血管内治療 脳動脈瘤コイル塞栓術

コイル塞栓術



ステント併用コイル塞栓術



未破裂右内頸動脈瘤

術前



術後



動脈瘤



コイル

動脈瘤内にコイルを挿入し、動脈瘤内への血流を遮断し出血を防止します。



CT装置が新しくなりました

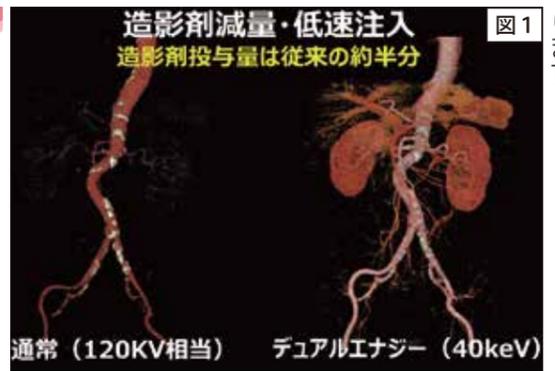
医療技術部長 兼 放射線科技師長 茂呂田 孝一

当院では、2台体制で64列マルチスライスCTが稼働していますが、そのうちの1台が令和2年8月に更新されました。装置名は、GEヘルスケアジャパン株式会社(日野、東京)製のRevolution ED7、列数こそ従来と同じ64列マルチスライスCTですが、いくつかの先進的な機能が搭載されており、代表的な特徴はDual Energy(デュアルエナジー)撮影、高分解能撮影、金属アーチファクト除去技術の3つとなります。

1 Dual Energy撮影

2種類のX線を用いてCT撮影を行うことで、従来では不可能であった情報を得ることができる撮影技術です。この技術そのものは約30年前から存在しますが、画像処理に長時間かかり(当時は1検査1日がかり)、全く実用的ではありませんでした。近年のコンピュータの発展によって、普段の検査でも必要な時にいつでも使用できるレベルになりました。図1は、腎機能が悪い患者の造影CT検査で、投与量を約半

分に減量した症例です。デュアルエナジーで撮影した低エネルギー成分を利用することで、従来と遜色のない画像になります。



2 高分解能撮影

X線CTの能力を大きく左右するものとしてX線検出器の性能があります。今回導入したCTは、1秒間当たりのデータ収集密度が従来の約2.5倍になっており、画像の解像度が飛躍的に向上しています。より細かい血管の描出や、従来見えにくかった、血管内治療後のステント内腔の評価も改善しています。

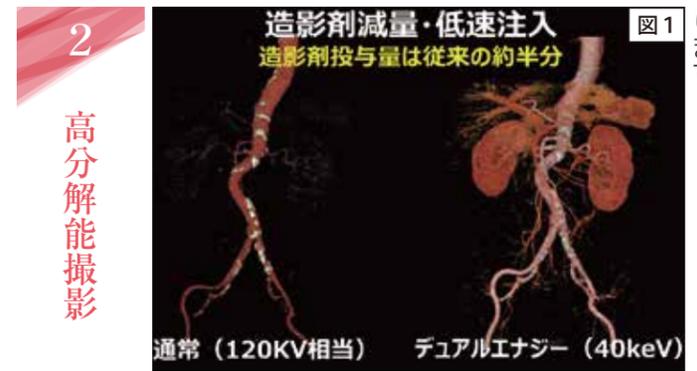
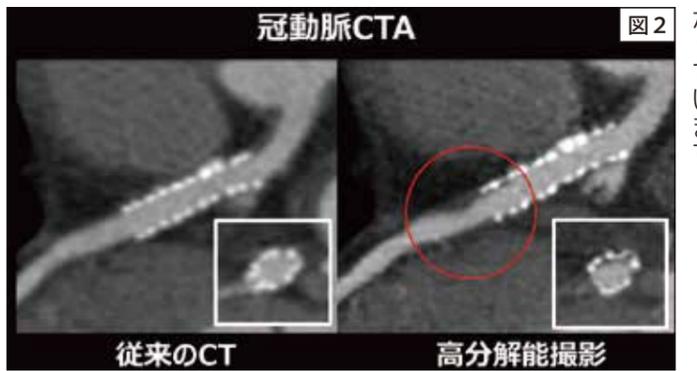
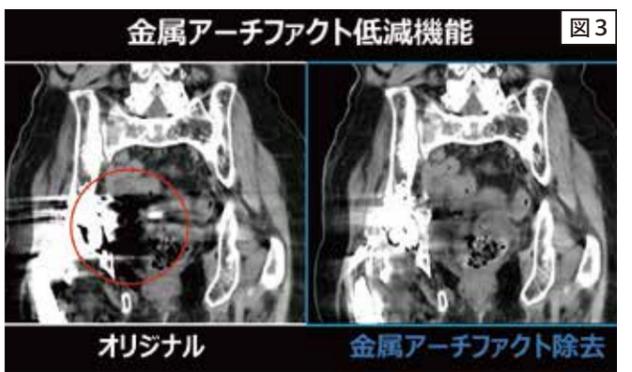


図2の赤丸はステント留置後2年間の経過観察中に、再狭窄を指摘された症例です。ステント周囲もより見えやすくなっています。



3 金属アーチファクト除去技術

従来のCT撮影では、人工関節などの金属が撮影部位にあった場合、金属アーチファクトによって金属周囲が見えにくくなっていました(図3)。新しいCT装置では、金属アーチファクトを抑え、その陰



に隠れて見えにくくなっていった病変も指摘できる可能性があります。

ご覧のように、CTの撮影技術は革新的に向上しています。また、CT装置の性能は、病気の診断や治療に大きく影響を与える可能性があります。現在の医療において画像診断を行わずに治療方針を決めることはありません。その点においても医療機器の定期的な更新は重要で、またそれを使いこなし、地域の皆様に還元できるようにスタッフ一同日々研鑽を積んで業務に取り組んでいます。

病棟シリーズ 第7回

脊髄脊椎外科病棟 副部長

道免 淳子



7階の脊髄脊椎外科病棟副部長の道免と申します。

はじめに脊髄脊椎疾患について話をさせていただきます。脊髄脊椎疾患とは、背骨の病気で神経が圧迫され、脊髄神経や馬尾神経の障害を引き起こし、痛みやしびれ、麻痺を起す総称です。骨や軟骨が神経を圧迫して生じることが多いのですが、骨そのものが痛んで症状を引き起こすこともあります。

他の病院では、整形外科で脊椎疾患(腰椎椎間板ヘルニア、脊椎狭窄症、圧迫骨折など)を診察していますが、新小文字病院には脊髄脊椎治療センターがあります。

当病棟では、脊髄損傷や脊椎疾患を中心に急性期の治療や外科的手術前後の全身管理の看護に力を入れており、早期にリハビリも開始しています。

初めての患者さんは驚かれますが、毎朝6時45分より医師とのフィルムカンファレンスのあと、リハビリスタッ



新型コロナウィルスの感染拡大に伴い、手術前後や日々の面会ができずに患者さん、ご家族ともに不安を強く抱かれています。そんな大変な中でも、看護師に対して、気遣いや励ましの言葉をかけてくださる方が多数いらっしゃいます。このような患者さんとの良好な関係が看護業務に対する意欲につながっています。この場をお借りして感謝申し上げます。

患者さんご家族に寄り添った看護ができるように日々努力してまいります。

輸液について

薬剤科 牛島 麻里亜



輸液とは、栄養や水分・電解質などを点滴することによって補充することを行います。

また、他の薬剤を輸液製剤に混合することによって、薬剤を緩徐に点滴投与したり、緊急時などの場合に薬剤を速やかに血管から投与することができるよう、予め血管を確保するために使用されます。

輸液の目的

- 水・電解質の補給、是正
- 循環血漿量の維持
- 酸・塩基平衡異常の是正

- エネルギー源の補給
- 体構成成分の補給
- ビタミン・微量元素の補給

- 薬剤投与ルート確保
- 病態の治療

輸液の種類

輸液は大きく「電解質輸液」と「栄養輸液」に分けられます。

電解質輸液は正・維持には「生理食塩

液」、生理食塩液にカリウムとカルシウムを加えた「リンゲル液」、リンゲル液に乳酸を加えた「乳酸リンゲル液」などがあります。

このほか、とりあえず水分・電解質を補給する「開始液(1号液)」、脱水症状時に使う「脱水補給液(2号液)」、水分や電解質の異常が是正された後に使う、通常の状態が必要とされる電解質をバランスよく含む「維持液(3号液)」、手術直後に使う「術後回復液(4号液)」など、目的に応じた輸液もあります。

栄養輸液

栄養補給のためにはブドウ糖・アミノ酸・脂肪(ダイズ油)などが用いられます。長期にわたって十分な栄養を与える時には、腕や足の末梢の静脈ではなく鎖骨の下の静脈から1日に必要なカロリーを含む輸液を注入する中心静脈栄養(TPN)という方法を行います。維持液に加えて、高濃度のブドウ糖やアミノ酸、ビタミンなどを含む「高カロリー輸液」が用いられます。

必要なカロリー量は人によって異なり、身長や体重、年齢、さらに活動量や患者さんの状態を考慮して算出されます。



令和2年7月豪雨

熊本県 人吉市

災害対策支援室報告

内科救急科 医長 富永尚樹

新小文字病院

人吉市

人吉市内を走行する新小文字病院救急車

災害派遣活動内容

- 新小文字DMAT(災害派遣医療チーム)が人吉市内に現地入り
- 人吉球磨医療圏保健医療調整本部立ち上げ
- 球磨村運動公園避難所立ち上げ
- 避難所避難支援
- 避難所診察などに携わる
- 活動期間:7/5(日)~7(火)

2020年7月4日午前4時50分、熊本県と鹿児島県に大雨特別警報が出ました。4日未明、朝までの断続的な雨により、熊本県各地で観測史上最多雨量を更新し、熊本県南部の球磨川では決壊1ヶ所と氾濫1ヶ所が確認されました。20万人以上の住民に避難指示が勧告されましたが、多数の孤立住民が発生、その中には高齢者施設も水没し、多数の心肺停止患者が発生しました。これらの状況を受け、熊本県から各県へDMAT派遣要請が出され、新小文字病院からも災害医療派遣を行いました。

我々には備えがある

門司には新小文字病院がある



自衛隊との意見交換



避難所での診察



避難所・避難後



避難所・避難前

入職から半年が経ちました



リハビリテーション科 山本 佳穂

入職して6ヶ月が経ちました。今年はコロナ問題などがあり、不安もありましたが先輩方のおかげで職場の雰囲気にも慣れ、楽しく仕事をさせて頂いています。最近では、担当患者も増え、リハビリ内容や計画について悩むこともあります。先輩方からアドバイスを頂きつつ頑張っています。今後、病棟異動もありますが、今の階で吸収し学んだことを次の病棟でも活かせるように頑張っていきたいと思っています。



看護部 皆良田 千穂

新小文字病院で新型コロナによるクラスターが発生し、入社式の後の自宅待機にはびっくりしましたが、入職して6ヶ月が経ちました。まだまだ知識不足で自分の未熟さを痛感することも多いですが、先輩方の丁寧なご指導のもと、少しずつ日々の業務に慣れてきました。これからも初心を忘れず、日々努力し、患者さんに寄り添った看護を提供できるよう頑張っていきたいと思っています。



地域医療課 川本 涼美

事務部地域医療課へ入職しました川本涼美と申します。入職後は1階の受付で保険のことや受診の流れ、診療費の計算、会計などを学び、現在は2階外来受付を担当するようになりました。外来受付では問診を取ったり、入院案内などを行い、より患者さんと接する機会が多くなりました。分からないことも多いですが、先輩方に教えて頂きながら頑張りますので、よろしくお願いします。

看護エピソード



私は以前、病棟勤務をしていましたが、現在は外来ERに所属して、救急対応やカテーテル検査、外来での採血業務などを行っています。先日、外来で採血を行っている際に患者さんから「〇〇さん！久しぶり！」と声をかけていただきました。声がかかる方を振り返りますと、そこには私が看護師になりたての時に受け持ちをさせていただいた患者さんがいらしていました。私が病棟勤務をしていたのは10年前ですので、その患者さんにお会いするのも10年ぶりということになります。患者さんが私のことを覚えてくださっていたことがとても嬉しく、また旧姓で呼びかけていただいたことにも驚き、10年という年月の経過を実感させられました。

「ほっこり」としたお話
外来ER 主任 山本 美穂



現在、患者さんの病状は落ち着いていること、お孫さんが生れたことなどを教えていただき、私も部署異動をしたこと、結婚し母になったことなど、お互いの近況を報告し合いました。10年経った今でも私の顔と名前を覚えていただいていたことはとてもありがたく、今回の出来事は私の心にとついても残り、今後の励みになりますし看護師という職業の選択にも間違いはなかった、「ほっこり」しています。これからも、一人ひとりの患者さんとの出会いを大切に、年月が経っても声をかけていただけるような看護師を目指し、頑張っていきたいと思っています。